

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

西三国小	学校
------	----

児童数	100
-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.50	17.90	29.78	36.83	42.12	9.43	147.51	15.83	48.48
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.13	15.49	35.42	36.26	34.33	9.58	136.69	11.20	50.42
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

○体力合計点において、男女ともに大阪市・全国平均を下回る結果であった。実技では、男子は50m走において大阪市平均・全国平均ともに上回っていた。女子は握力、50m走の2種目において大阪市平均・全国平均ともに上回っていた。

○質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」では、男子は肯定的な回答が92.8%、女子は83.3%であり、大阪市平均・全国平均ともに下回っていた。

○1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合では、男子は12.2%であり、大阪市平均・全国平均より定期的に運動する時間の割合が低かった。女子は13%で大阪市平均・全国平均を上回っており、定期的に運動する児童の割合が高かった。なお、総運動時間の平均では、男子は77.4分、7分で大阪市平均を180分上回り、女子は53.6分、4分で大阪市平均を200分上回っていた。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

・運営に関する計画の【基本的な方向5 健やかな体の育成】において取組内容6「児童の運動量を確保するために講堂や運動場を有効的に活用することをめざし、児童が楽しみながら運動ができるように遊び方や用具の工夫、休み時間の講堂の開放、運動場の使い方を見直すとともに、運動できる時間を増やす」、7「児童に実態に合わせ、体育科学習カードを年3回以上活用するなど、体育科の授業展開を工夫して体づくり運動の充実を図り、児童が意欲的に体育学習に取り組むことができるようにする」を設定し、1年間学校として取組を進めた。今年度は4月当初より講堂開放を実施し、活用する機会をさらに増やしたことで児童の運動習慣の定着を図ることができた。また、全校児童で取り組むなわとびやかけ足などの運動強調週間をきっかけに、がんばりカードや学習カードを年3回以上活用することで運動意欲の向上につなげることができた。

・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果における課題解決のため、持久力・瞬発力・柔軟性を向上させるため体育科学習の始めにラダーやバーピージャンプなど3～5分程度の短時間で心拍数の上がる運動を取り入れたり、整理運動時にストレッチを取り入れたりしていく。また、ソフトボール投げの記録が大阪市平均及び全国平均を著しく下回っているため、低学年から高学年まで系統立てた「投げること」に特化した単元構成を組んだり、遊びのスペースづくりや用具の工夫などの運動環境を整えたりしていく。